

山の心か話 WBCと操法大会

3月9日(木)、地元東京ドームで始まったWBC(ワールドベースボールクラシック)。そこから2週間はこの家庭からも歓声や応援の声が聞こえてきました。当然その選手たちもこの応援に応えるべく、何か月も前からこの日に合わせて練習を重ねてきたことでしょう。その一丸となった成果がこのたびの結果に繋がったと思います。全日本国民を楽しませてくれてありがとうございました。そして、WBCの選手の皆さんお疲れさまでした。



そういえば、選手といえば小石川消防団も今、まさに東京都消防操法大会に向けて頑張っている選手がいます。彼らは小石川消防団員の期待に添えるよう、今年の10月に向けて何か月も前から訓練を重ね、もちろん大会のためだけでなく、災害時に向けてその技術の向上を図っています。

防災は一日にして成らず。これを心に一丸となって応援をしていきます。

第6分団 副分団長 菊間 三喜夫

素顔の消防団員

File:57



さわ たくろう
澤 卓朗 27歳
R2.3.1入団
澤鷺工業(株)勤務
白山2在住(戸崎町町会)

今回は1番員として東京都消防操法大会の選手に選ばれた第3分団の澤団員の登場です。

令和2年、24歳の時に入団しました。きっかけは父が消防団員で小さいころから消防や救命の大切さを身近に感じており、就職を機に決意しました。

同年から消防操法大会の選手に選ばれて訓練をさせていただきました。当初は若さゆえ、年配の方々には体力では負けない自信があり、悪く言うと正直ナメていました。しかし時間を共にしているうちに、みなさんの熱意とエネルギーに驚かされると共に、平成生まれでゆとり育ちの“お坊ちゃま”であることを自覚しました。(笑)

現在、東京都消防操法大会の選手をさせていただいており、やりがいを感じながら日々奮闘しています。そのなかで様々な人と関わるため、操法に関する以外にも学ばせていただくことが多々あります。消防団活動で心身共に成長しながら、頑張っていこうと思います!



ちよらかい しょうらかい 町会紹介

西江戸川町会
にしえどがわちょうかい
(第5分団受持区域)

神田川に架かる石切橋から中之橋の北側、水道1,2丁目の川沿いに位置し、凸版印刷本社ビルをはじめ、印刷・製本業に関わる会社の合間に小桜商店会や住宅が立ち並ぶ、会員数100名ほどの町会です。

神田川の早稲田から飯田橋までの流域が“江戸川”と呼ばれていた明治時代は、両岸の土手が桜の名所として屋形船による花見客も出るほどだったようで、当時の様子は西江戸川橋近くの護岸レリーフにも描かれています。

その一方、大雨で川が氾濫しやすい地域だったため、以前は消防団の水防出動もたびたびありました。

会長歴7年の中村さんは、町会役員の変動や人手不足などで町会行事が止まっていますが、お祭りや子ども夜警などできるところから継承していきたいとお話してくださいました。

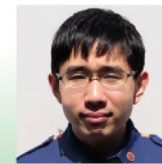


小石川消防団へようこそ

新入団員お披露目!

●第1分団 森脇 俊介 (R5.4.1入団)

大学生になったら消防団に入ろうと考えていたことや、引っ越してきたこの地域のお役に立ちたいと思い、入団させていただきました。少しでも地域の防災に貢献できるよう精進してまいります。



●第2分団 國本 純絵 (R4.10.1入団)

職場や町会での防災訓練への参加をはじめ、普通救命講習、さらに上級救命講習の受講を通じ、地域で何かできることがあるのではないかと思います。消防団に入団させていただきました。



●第5分団 大塚 裕一 (R4.11.30入団)

地域に根付いた貢献をしたいと考えていたところ、町会の掲示板に貼られていた広報紙の“消防団員募集”という文字を見かけて応募させていただきました。これからよろしくお願いします。



いっしょに守ろう! 小石川のまち、ひと。

消防団員募集

小石川消防団 03-3812-0119
(小石川消防署内 消防団事務局)

首都東京を守る消防団 <https://tokyo23city-syobodan.jp>

